

# 民報 ゆうばり

# 主権を奪い医療も破壊するTPP!

## TPP参加は「日本がアメリカの州になるようなもの!」



韓国の十数万人のローソクデモ行進

2月25日、空知農業会館において「空知TPPシンポジウム」が開催されました。主催は「空知TPPシンポジウム実行委員会」で、空知管内農業協同組合長会・そらち森林組合・北海道新聞社岩見沢総局・南空知農業共済組合・空知中央農業共済組合等多数の団体や、栗山・奈井江・月形・長沼・南幌・由仁・砂川等の首長等20を超す団体・個人が協賛、空知振興局長・夕張市長等20近い個人からメッセージが寄せられました。

### 主権を奪うTPP

最初に韓米FTAの内容についてイさんから報告があり、「国の主権がなくなる」「暮らしにひどい悪影響を及ぼす」「FTAを締結している他の国の状況を見れば、政府のいうことが嘘だとわかる。FTAで経済成長・雇用を創出・先進国の仲間入り等は大ウソ。」「FTAで利益を得るのは1%の財閥、多国籍企業であり99%の民衆には一層の貧困をもたらす」「韓米FTAはTPPのテストケースである」となどが話され、韓国で十数万人のローソクデモの戦いの様子が動画で紹介されました。さらに、「今回、もしも韓米FTAが無理やり締結されたとしても、どちらか一方の通告で6カ月後に失効できる。4月の国会議員総選挙、秋の大

イ・チャンハン氏、北海道協医師の舛田和比古氏、紙智子参議院議員の3人です。

### 医療破壊のTPP

次に、医師である舛田氏は、「日本医師会では混合診療の『全面』解禁に反対している

の営利産業化を推進する考えも容認できない」「こんな悪いことを誰が考えたのか? 日本がアメリカの州になるようなもの。農業だけでなく、人や物、サービス等にかかわるあらゆる分野が対象」「弱肉強食、自己責任論、格差社会、国民の苦難、国土・地域・医療の崩壊」と、憲法の精神を生かし、無差別平等の医療・福祉の国をつくるのか、せめぎあいの時代だ」と述べました。

## 空知TPPシンポ 360人が参加!!



ること、医療の安全と安心の確保が約束できない限りTPP参加を認められない、医療

### 情報秘匿のTPP

三番目に紙智子参議は「TPPは例外なしの非関税、非関税障壁をはずすことが原則。国民への情報提供、国民的な議論がされていないことが問題。交渉文書は4年間、秘匿される。一番影響を受けるのは北海道です。広げなければ!」と訴えました。

最後にコーディネーターの島山和也氏が「問題だらけのTPP



に大義のないことを広げ、韓国のたたかいに連帯して、安全な食料はもちろん、医療・福祉の充実をめざして、STOP TPP! の運動を広げましょう。」と締めくくりました。

◆◆◆  
また、韓国の新聞「ハンギョレ」は2月27日、「韓米自由貿易協定(FTA)にともなう司法主権侵害の可能性が裁判所内部で公式に議論され始めた。最高裁は26日、裁判所の内部研究会である国際取引法研究会がホームページに自由貿易協定関連揭示板を開設し、投資家・国家訴訟制度(ISD)にともなう司法主権侵害問題などに対する本格的な研究に着手した」と報道しています。

### 野呂栄太郎没後 78周年碑前祭 ~50名参加!~



2月19日、野呂栄太郎碑のある長沼小公園で没後78年の碑前祭が行われました。

野呂栄太郎は、長沼で生まれ、「日本資本主義発達史」を刊行するなどし、優れた経済学者としても高く評価されていました。また、戦前の日本共産党の指導者としても活躍しました。しかし、1933年11月特高警察によって逮捕、翌年2月19日絶命。33歳の生涯を閉じました。碑前祭では長沼町議会代表の挨拶や町長のメッセージなどが紹介されました。

# わたしの避難所はどこと？

## 新婦人で消防署訪問

2月24日、新婦人夕張支部では「いざというとき、私たちの安全は守られるのだろうか」と、消防署へ出かけ話を聞きました。

南北に防災倉庫があり、充分とはいえない数ではあるが食料・水・毛布・簡易ベットなどの備蓄があることなど、他にも色々な体制をとっていることがわかりました。

市には、一次避難所（18ヶ所）収容避難所（27ヶ所）があること、緊急時の退避場所はホテルや大きな施設などに、緊急移動は夕鉄バスと協定していること、

私たちもいま一度、自分の避難場所を確認し（各家庭に配布されているガイドブック）、3日分の食料の備蓄を実践し、自分の身を守る気持ち

ちを高める必要があると感じました。くまがい桂子市議も同行し、日夜、市民の安全・安心のためにも奮闘されています。桂子に、一同感銘を受けた訪問でした。



防災倉庫の見学（ペットボトル、アルファ米、乾パン、簡易トイレ……等の備蓄の様子を見学）

## ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2012

2月23～27日まで、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2012が開催されました。

25日には、東日本大震災支援プロジェクトが企画した「ホワイトロック・きずな」が、メイン会場前の広場に設けられ、東北物産の販売で支援を訴え、たくさんの参加者でにぎわっていました。また恒例のストーブパーティ「熊五郎」はホタテ焼き、ジンギスカン、豚汁などに大勢の参加者たちが集い、楽しい交流の場となっていました。



ホワイトロック「きずな」に集う参加者！

## ★ボランティア活動・市民活動をパワーアップ！

# NPO学習会のご案内



日時：3月8日(木) 18時～  
 場所：市民研修センター 1F  
 講師：東田秀美氏(NPO相談員)  
 主催：ゆうばり再生市民会議

## 「急げ全面賠償、なくそう原発」



日本共産党准中央委員  
道政策委員長

# 「かけある記」 山 和也の

行く先々で「読みましたよ」と声をかけられます。「財界さつぽろ」3月号で、志位委員長とともに私もインタビューを受けた記事が載っていることです。取材の中で、実は紙面に出ていない話もたくさんあります。日本の大企業は規制の中でも技術革新で乗り越えてきたこと、なぜアメリカの自動車メーカーは破たんしたのか：各地を回った時に、少しでも紹介できればと思っています。

作家の倉本聰さんらが呼びかけ人となった「さようなら原発」北海道実行委員会の集会に参加しました。30分前に着いたにもかかわらず、すでに会場はいっぱい。私の前の席には小さい子どもを連れだお父さんの姿があり、労働組合の方の姿もあり、文字どおり「原発をなくしたい」という一点でいるんな方が集まっているんだと実感しました。

飯館村の方の発言、伊達市から避難している方の話はあらためて衝撃的です。「私たちには何の情報もなかった」「なぜ子どもたちを、あの時間に外に出していたかと悔やんでいる」「泊原発で事故があった時に、みなさんは正確な行動が取れますか」……これが原発事故の現実なのだと思いが痛みました。

急げ全面賠償、なくそう原発！ その後のデモ行進は、ふだんのデモ以上に大きな声で札幌市内に響いてきたように思います。民主党は原発再稼働を容認し、自民党は結論を一〇年先送りとか。みなさんの声の高まりと日本共産党の前進こそ、原発をなくす一番の力です。